

# 新型コロナワクチン接種について

2021年6月21日  
日本小児循環器学会

なるべく多くの方が受けたほうが、集団免疫の成立により感染者数が減少し、**感染収束を早期に実現させやすいため、ワクチン接種を積極的におすすめします。**  
**特に重症化が予測される基礎疾患のある方は、積極的に受けましょう。**

**ワクチン接種をしないほうがよい**のは、過去にワクチン接種で**アナフィラキシー反応**（短時間で全身に激しい症状が出るアレルギー反応のひとつ。全身にかゆみやじんましんが出る、喘息や呼吸困難になるなどの症状）が出たことがある方です。アナフィラキシー反応はワクチンの主成分ではなく添加物に対する反応であり、コロナワクチンでも同様の添加物への反応が予想されるためです。

**明らかに発熱している時**（基本的に37.5℃以上）や、**急性疾患治療中**は、ワクチン接種はできませんが、治癒した後に受けることができます。

**重い副反応が起こることはまれです。**一方、軽い副反応はよく起こります。

**重い副反応**である**アナフィラキシー反応**は、ワクチンを打って**15～30分以内**に起きることがほとんどです。接種した場所で15～30分ほど様子を見ることになっているため、それに従いましょう。

**軽い副反応**として、**疼痛、発熱、頭痛、腹痛、けん怠感**などはよく起こります。1回目は接種後1～2日間、2回目のほうが起こりやすく、接種後2～3日間起こります。軽い副反応の症状に対して、鎮痛・解熱薬（市販薬でもかまいません）を内服して問題ありません。

よくある副反応ではない、**胸痛、動悸、呼吸苦などの症状**や、**鎮痛・解熱薬でもよくなる強い症状**、接種後3～4日過ぎても症状がよくなる場合には、主治医やかかりつけ医に連絡して、診察してもらいましょう。

**抗血栓・抗凝固薬服用中の方**は、筋肉注射で内出血するかもしれません。接種後様子を見ている間は**接種部位はもみず、しっかり押さえておきましょう。**



世界的に小児のワクチン接種の数が成人と比較して少ないため、今後、新たなデータが出て指針が変更される可能性があります。新しい情報や指針の変更は、日本小児循環器学会HP (<http://jspccs.jp/>) をご覧ください。